
平成28年度

地方公共団体金融機構決算の概要

地方公共団体金融機構

平成28年度決算のポイント

◇ 経常利益は1,602億円で、前年度に比べ、87億円の減少
当期純利益は278億円で、前年度に比べ、23億円の減少

◇ 資産総額は貸付金等24兆7,862億円で、前年度末に比べ、1,429億円の増加
負債総額は債券等24兆5,451億円で、前年度末に比べ、1,180億円の増加
純資産総額は利益剰余金等2,410億円で、前年度末に比べ、249億円の増加

◇ 地方公共団体健全化基金は9,202億円で、前年度と同額
金利変動準備金は1兆9,800億円で、前年度末に比べ、2,200億円の増加
公庫債権金利変動準備金は1兆3,581億円で、前年度末に比べ、2,803億円の減少

会計処理等は、原則として企業会計原則による。なお、地方公共団体健全化基金、金利変動準備金等の機構特有の財務基盤に係る会計処理については、関係法令の規定等による。

利益の状況 [機構全体]

- ◇ 平成28年度の**経常利益は1,602億円**で、前年度に比べ、87億円の減少(▲5.2%)。貸付金利息の減少額が債券利息の減少額を99億円上回ったこと等が要因
- ◇ **当期純利益は278億円**で、前年度に比べ、23億円の減少(▲7.7%)。一般勘定の当期純利益が減少したことが要因

科 目	H28決算(A)	H27決算(B)	増 減((A)-(B))
経 常 収 益	3,764億円	4,079億円	▲315億円
貸付金利息	3,719億円	4,033億円	▲314億円
貸余資運用益	0億円	6億円	▲6億円
その他	45億円	39億円	6億円
経 常 費 用	2,162億円	2,390億円	▲228億円
債券利息	2,083億円	2,298億円	▲215億円
その他	79億円	92億円	▲13億円
経 常 利 益	1,602億円	1,689億円	▲87億円
特 別 利 益	4,273億円	5,282億円	▲1,009億円
公庫債権金利変動準備金取崩額	4,200億円	5,200億円	▲1,000億円
利差補てん積立金取崩額	73億円	82億円	▲9億円
特 別 損 失	5,596億円	6,669億円	▲1,073億円
金利変動準備金繰入額	2,200億円	2,200億円	—
公庫債権金利変動準備金繰入額	1,396億円	1,469億円	▲73億円
国庫納付金	2,000億円	3,000億円	▲1,000億円
当 期 純 利 益	278億円	301億円	▲23億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

利益の状況 [一般勘定]

- ◇ 平成28年度の**経常利益は278億円**で、前年度に比べ、23億円の減少(▲7.7%)
- ◇ 健全化基金受取利息が皆減したほか、債券利息の増加額が貸付金利息の増加額を15億円上回ったこと等が要因
- ◇ **当期純利益は278億円**で、前年度に比べ、23億円の減少(▲7.7%)

科 目	H28決算(A)	H27決算(B)	増 減((A)-(B))
経 常 収 益	1,379億円	1,394億円	▲15億円
貸付金利息	1,329億円	1,320億円	9億円
余資運用益	0億円	6億円	▲6億円
金利スワップ受入利息	0億円	5億円	▲5億円
健全化基金受入額	35億円	29億円	6億円
健全化基金受取利息	—	22億円	皆減
その他の他	14億円	10億円	4億円
経 常 費 用	1,101億円	1,092億円	9億円
債券利息	949億円	925億円	24億円
借入金利息	5億円	5億円	0億円
金利スワップ支払利息	0億円	1億円	▲1億円
その他業務費用	22億円	23億円	▲1億円
営業経費	30億円	36億円	▲6億円
基金管理勘定繰出金	90億円	99億円	▲9億円
その他の他	1億円	1億円	0億円
経 常 利 益	278億円	301億円	▲23億円
特 別 利 益	2,200億円	2,200億円	—
管理勘定繰入金	2,200億円	2,200億円	—
特 別 損 失	2,200億円	2,200億円	—
金利変動準備金繰入額	2,200億円	2,200億円	—
当 期 純 利 益	278億円	301億円	▲23億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

利益の状況 [管理勘定]

- ◇ 平成28年度の**経常利益は1,323億円**で、前年度に比べ、64億円の減少(▲4.6%)。貸付金利息の減少額が債券利息の減少額を82億円上回ったこと等が要因
- ◇ 利益の範囲内で公庫債権金利変動準備金への繰入を行ったため、平成28年度の純利益はゼロ

科 目	H28決算(A)	H27決算(B)	増 減((A)-(B))
経 常 収 益	2,482億円	2,814億円	▲332億円
貸付金利息	2,390億円	2,712億円	▲322億円
基金一般勘定繰入金	90億円	99億円	▲9億円
その他	1億円	1億円	▲0億円
経 常 費 用	1,159億円	1,426億円	▲267億円
債券利息	1,133億円	1,373億円	▲240億円
健全化基金支払利息	—	22億円	皆減
その他	25億円	31億円	▲6億円
経 常 利 益	1,323億円	1,387億円	▲64億円
特 別 利 益	4,273億円	5,282億円	▲1,009億円
公庫債権金利変動準備金取崩額	4,200億円	5,200億円	▲1,000億円
利差補てん積立金取崩額	73億円	82億円	▲9億円
特 別 損 失	5,596億円	6,669億円	▲1,073億円
公庫債権金利変動準備金繰入額	1,396億円	1,469億円	▲73億円
一般勘定繰出金	2,200億円	2,200億円	—
国庫納付金	2,000億円	3,000億円	▲1,000億円
当 期 純 利 益	—	—	—

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

資産の状況 [機構全体]

- ◇ 平成28年度末現在の**資産総額は24兆7,862億円**で、前年度末に比べ、1,429億円の増加(+0.6%)
- ◇ 普通預金の増加等により、現金預け金が前年度末に比べ、1,496億円増加したこと等が要因

科 目	H29.3.31現在(A)	H28.3.31現在(B)	増 減((A)-(B))
貸 付 金	23兆7,200億円	23兆6,645億円	555億円
有 価 証 券	1,660億円	2,350億円	▲690億円
現 金 預 け 金	8,612億円	7,116億円	1,496億円
金 融 商 品 等 差 入 担 保 金	243億円	162億円	81億円
そ の 他 資 産	106億円	115億円	▲9億円
有 形 固 定 資 産	26億円	27億円	▲1億円
無 形 固 定 資 産	14億円	17億円	▲3億円
合 計	24兆7,862億円	24兆6,433億円	1,429億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

資産の状況 [一般勘定・管理勘定]

- ◇ 一般勘定における資産総額は14兆6,984億円で、前年度末に比べ、1兆3,522億円の増加(+10.1%)
- ◇ 管理勘定における資産総額は10兆7,597億円で、前年度末に比べ、1兆2,843億円の減少(▲10.7%)

	科 目	H29.3.31現在(A)	H28.3.31現在(B)	増 減((A)-(B))
一 般 勘 定	貸 付 金	13兆6,387億円	12兆3,748億円	1兆2,639億円
	有 価 証 券	1,660億円	2,350億円	▲690億円
	現 金 預 け 金	8,612億円	7,116億円	1,496億円
	金 融 商 品 等 差 入 担 保 金	243億円	162億円	81億円
	そ の 他 資 産	40億円	40億円	▲0億円
	有 形 固 定 資 産	26億円	27億円	▲1億円
	無 形 固 定 資 産	14億円	17億円	▲3億円
	<u>合 計</u>	<u>14兆6,984億円</u>	<u>13兆3,462億円</u>	<u>1兆3,522億円</u>
管 理 勘 定	貸 付 金	10兆 813億円	11兆2,896億円	▲1兆2,083億円
	そ の 他 資 産	65億円	74億円	▲9億円
	一 般 勘 定 貸	6,718億円	7,469億円	▲751億円
	<u>合 計</u>	<u>10兆7,597億円</u>	<u>12兆 440億円</u>	<u>▲1兆2,843億円</u>

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

負債の状況 [機構全体]

- ◇ 平成28年度末現在の負債総額は24兆5,451億円で、前年度末に比べ、1,180億円の増加(+0.5%)
- ◇ 負債の大半を占める債券は前年度末に比べ、1,559億円の増加。当期発行額が償還額を上回ったこと等が要因
- ◇ 公庫債権金利変動準備金は、借換益等1,396億円を積み立てたものの、金利変動準備金への2,200億円の年次繰入及び2,000億円の国庫納付を行った結果、前年度末に比べ、2,803億円の減少

科 目	H29.3.31現在(A)	H28.3.31現在(B)	増 減((A)-(B))
債 券	19兆9,555億円	19兆7,996億円	1,559億円
借 入 金	1,705億円	1,205億円	500億円
地方公共団体健全化基金	9,202億円	9,202億円	—
金利変動準備金	1兆9,800億円	1兆7,600億円	2,200億円
公庫債権金利変動準備金	1兆3,581億円	1兆6,384億円	▲2,803億円
利差補てん積立金	410億円	483億円	▲73億円
金融商品等受入担保金	1,111億円	1,295億円	▲184億円
そ の 他	85億円	104億円	▲19億円
合 計	24兆5,451億円	24兆4,271億円	1,180億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

負債の状況 [一般勘定・管理勘定]

- ◇ 一般勘定の負債総額は14兆5,109億円で、前年度末に比べ、1兆3,272億円の増加(+10.1%)
- ◇ 管理勘定の負債総額は10兆7,060億円で、前年度末に比べ、1兆2,843億円の減少(▲10.7%)

	科 目	H29.3.31現在(A)	H28.3.31現在(B)	増 減((A)-(B))
一 般 勘 定	債 券	10兆6,546億円	9兆5,040億円	1兆1,506億円
	借 入 金	1,705億円	1,205億円	500億円
	地方公共団体健全化基金	9,202億円	9,202億円	—
	金利変動準備金	1兆9,800億円	1兆7,600億円	2,200億円
	金融商品等受入担保金	1,111億円	1,295億円	▲184億円
	管理勘定借	6,718億円	7,469億円	▲751億円
	その他の他	25億円	24億円	1億円
	合 計	14兆5,109億円	13兆1,837億円	1兆3,272億円
管 理 勘 定	債 券	9兆3,009億円	10兆2,955億円	▲9,946億円
	公庫債権金利変動準備金	1兆3,581億円	1兆6,384億円	▲2,803億円
	利差補てん積立金	410億円	483億円	▲73億円
	その他の負債	59億円	80億円	▲21億円
	合 計	10兆7,060億円	11兆9,903億円	▲1兆2,843億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

純資産の状況

- ◇ 平成28年度末現在の純資産総額は**2,410億円**で、前年度末に比べ、249億円の増加(+11.5%)
- ◇ 一般勘定の当期純利益278億円を積立金として計上する一方、金利スワップ取引に係る評価損益等である繰延ヘッジ損益が前年度末に比べ、30億円減少したことが要因

科 目	H29.3.31現在(A)	H28.3.31現在(B)	増 減((A)-(B))
地方公共団体出資金	166億円	166億円	—
一般勘定積立金	1,657億円	1,379億円	278億円
管理勘定利益積立金	536億円	536億円	—
繰延ヘッジ損益	50億円	80億円	▲30億円 <small>うち金利スワップ期中解約分 ▲25億円 うち繰延ヘッジ取崩分 ▲4億円</small>
合 計	2,410億円	2,161億円	249億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

(参考)平成28年度決算における主要勘定の状況

(単位:億円)

【貸付金】

前 残 ①	期 末 高	貸付額 ②	回収額 ③	期 末 残 高 ①+②-③
236,645		17,250	16,695	237,200

【債券】

前 残 ①	期 末 高	発行額 ②	償還額等 ③	期 末 残 高 ①+②-③
197,996		20,007	18,448	199,555

【地方公共団体健全化基金】

前 残 ①	期 末 高	納付金等 ②	基 運 用 益 ③	利下げ補てん 所 要 額 ④	一般勘定自己 財源充当額 ⑤	期 末 残 高 ①+②+③ -(④-⑤)
9,202		35	102	200	61	9,202

【利差補てん積立金】

前 残 ①	期 末 高	取 崩 額 ②	期 末 残 高 ①-②
483		73	410

【金利変動準備金・公庫債権金利変動準備金】

	前 期 末 残 ①	年次繰入 ②	国庫納付 ③	要積立額 ④	公庫貸付に係る 利下げ所要額 ⑤	公営企業 債券借換益 ⑥	期 末 残 高 ①+②+③+④+⑤+⑥
金利変動準備金	17,600	2,200	—	—	—	—	19,800
公庫債権金利変動準備金	16,384	▲2,200	▲2,000	417	90	889	13,581

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。